

ご挨拶

1599年に世界的な貿易の一大拠点となっていたフランスのマルセイユにおいて、貿易に伴う利害の発生により商業上の権利を守り商売の繁栄を図るために、港を中心に地元の有力業者が集まり、商人と市議会が話し合う場として、商業会議所が設立されました。こうして世界で最初の商工会議所がマルセイユに誕生します。

日本においては、その後250年ほどたった混乱の幕末期に、江戸幕府が日本を代表する政府として、アメリカと日米修好通商条約に調印します。これはアメリカ側に領事裁判権を認め、日本に関税自主権がないことから不平等条約と呼ばれていました。幕府はアメリカ以外にもロシア・イギリス・オランダ・フランスの各国とも同様の内容で条約を結びます。そして大政奉還後、日本が諸各国と肩を並べるべく文明開化、殖産興業を旗印に近代化を進めますが、幕末に調印した不平等条約が日本の主権を侵害し、経済的にも国内産業の保護育成の大きな障害となっていました。その問題を解決するべく、英国公使のハリーパークスに「日本の世論として不平等条約を改正して欲しい」と交渉しますが、国会も商工会議所もない日本に、国民の世論を集約した意見なのかと疑問を投げかけられてしまいます。

一方、資本主義の父ともいわれる渋沢栄一（のちに東京商法会議所初代会頭）氏は企業人に独立の精神を持たせ、共通の問題に取り組む仕組みが必要と考え、国の繁栄と商人の地位向上を目指して、実業家の意見を集約する形で東京、大阪、神戸を皮切りに各地域に商工会議所が続々と設立されていきます。

商工会議所設立の経緯を振り返ってわかるように、商工会議所の設立の目的は「**地域の振興**」「**中小企業の経営支援**」「**政策提言活動**」です。

私たち鹿児島商工会議所青年部（以下、鹿児島 YEG）は愛する郷土鹿児島の経済的発展の支えとなる活動を目指して平成4年（1992年）に設立され、青年経済人の団体として鹿児島の地域社会の発展につながるように諸活動を行ってまいりました。

全国に散らばる商工会議所青年部会員約34,000名からなる416単会の中には、行政機関に対して政策提言活動をし続けている単会もたくさんありますが、鹿児島 YEG はまだそのような活動を行ってきておりません。

本年度鹿児島商工会議所青年部の活動スローガンは「YEG Ever Onward! ～限りなき前進～」です。今一度自団体の設立趣旨を考えたとき、鹿児島 YEG として一歩前に進むためにも、本年は政策提言活動に取り組んでまいりました。

鹿児島の未来を創る一助となれば幸いに存じます。

令和元年度鹿児島商工会議所青年部
会長 若松 伸一
(株式会社ワカマツ自動車)